

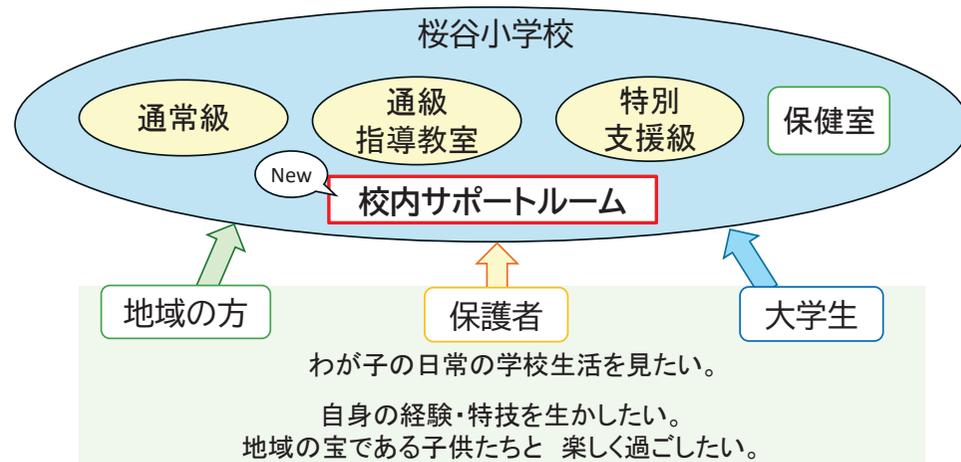
地域とともにある学校づくり

—地域人材との継続的な連携を可能にする組織づくりと運営—



富山市立桜谷小学校 八木 道子

すべての子供に、自分に合った学びの場、居場所をつくりたい。



1 主題設定の理由

教室での学習が難しい子ども
→ 学習機会と学力の保障を目指す。

教室外での個別の支援
→ 対応する教員の不足、負担増

学校運営協議会で相談
→ 子どもサポート事業(ボランティア)の立ち上げ

地域とともにある学校づくり



2 研究の方法

学校運営協議会委員とともに組織を立ち上げ、運営

気付いたこと、改善点を
子どもサポーターのメンバー、学校運営協議会で意見交換

学校と地域人材の継続的な連携を可能にする組織づくりと
運営の在り方を明らかにする。

3 研究内容



子どもサポーターの活動(選択)

- ① 教室等で子どもの様子を見守る。
- ② ミシンや書道等のサポートをする。
- ③ 子どもサポートルームで過ごす子どもを見守る。
- ④ 学校行事やPTA行事で準備や片付けを手伝う。
- ⑤ 学校の施設を見回り、必要に応じて施設改善の取組を行う。

子どもの見守りには、教員1名が必ずつく。

事業内容の決定

- 1 目的
- 2 基本理念
- 3 期待する効果
- 4 子どもサポートルームの開設
- 5 子どもサポーターの活動内容
- 6 事務局の設置、役割
- 7 実施までの計画
- 8 募集方法

協議

運営要領
運用要項
募集パンフレットの作成

	学校運営協議会委員	教 頭	コーディネーター
準備	事業内容 協議・まとめ		
	募集パンフレット作成		
	運営要項作成	新規登録のおたより作成	
	R6 9月~12月	登録募集のお知らせ配信	説明会開催
		説明会開催・面談	説明会開催
スタート	R7 1月	登録者 情報とりまとめ	子どもサポーター参加日時とりまとめ(2週間ごと)
		校時、学校行事、協力してほしい学習の連絡	地域、保護者へ呼びかけ
		毎時間のサポーター配置(特支担任と)	意見交換会 開催
		追加登録募集	意見交換会 議事録まとめ
			議事録をサポーター全員へ連絡

募集パンフレット

桜谷小学校 子どもサポーター登録募集

保護者に配信
地域に回覧

桜谷小学校で、子どもたちの学習活動の見守りをするボランティアの方を募集します。サポートしていただきたい内容は次の5点です。子どもサポーターに登録していただける方は、ご協力いただける活動を1～5からお選びください。(複数選択も可能です)

- 1 教室等で子どもの学習の様子を見守る。
- 2 校内サポートルーム(裏面参照)で過ごす子どもを見守る。
- 3 学校行事やPTA行事の際に、準備や片付けを手伝う。
- 4 ミシンや書道の学習時に子どものサポートをする。
- 5 学校施設を見回り、施設改善のための取組を行う。

※運動会やキッズマルシェの準備・片付けにご協力いただいている「お父さんの会」は子どもサポーターに統合し、お父さんお母さん、地域の方でサポートしていただきたいと思っております。

学校運営協議会委員



<参加時間>

学校がある平日の8:35～14:20
参加可能な時間帯：短い時間でも大丈夫です。

子どもサポーターへの注意点

- ・事業の理念を尊重し活動する。
- ・指定された場所で活動する。
- ・個人情報等を口外しない。
- ・危険物を持ち込まない。
- ・子どもに不必要なものを提供しない。
- ・撮影をしない。

事業開始まで



1 子どもサポーター登録者と面接

- ・志望動機
- ・個人情報の保護
- ・子どもとの接し方

2 子どもサポーター事前説明会

- ・活動内容
- ・参加日時の連絡方法

参加連絡 日時を「調整さん」というアプリに入力

日程	○	△	×	Kさん	Mさん	Sさん	Yさん	Iさん	Nさん	Tさん	Yさん
8/27(水) 午前	4人	0人	6人	×	×	×	○	○	○	○	>
8/28(木) 午前	3人	0人	7人	×	×	×	○	○	○	×	>
8/28(木) 午後 5 限	1人	0人	9人	×	×	×	○	×	×	×	>
8/28(木) 下校指導 14:20	0人	0人	10人	×	×	×	×	×	×	×	>
8/29(金) 午前				コーディネーター・各自			×	×	○	○	>

割り振り

担任・教頭

時間割変更や、ご意見があれば、教えてください。		2025/9/2 火					
		1限	2限	3限	4限	5限	6限
校長・教頭・教務							
そよ1		1-1				1-1	
そよ2		○	(男) 学び	サボ付き○	○	○	
SSS	塚本先生	2-1 図工 そよひま	2-1 図工 そよひま	1-1 生活 ひま	1-2 音楽	12.45~13.30 ※別途説明	
子どもサポーター	佐久本さん	1-2 国語	1-1 国語	1-1 生活	1-1 生活	1-2	
子どもサポーター	毎田さん	1-2 国語	1-2 算数	1-2 生活	1-2 音楽		
子どもサポーター	長田さん	1-1 算数					
子どもサポーター	北さん	4-2理科 ヘチマ観察 そよ2	2-1 図工	1-2 生活	1-1 図工 ひま		

4 教頭としての働きかけ

(1) コーディネーターとの日常的な連携

行事予定、時間割の連絡

問題点、改善策の相談

(2) 事業内容の保護者への周知

PTAや地域の集まり、学校行事 ……コーディネーターに事業説明を依頼
おたよりを配信

(3) 環境整備

居心地のよい休憩場所

全学年の教科書

(4) 子どもサポーターの毎日の配置

サポーターと担任のニーズを把握 → マッチング

教職員
みんなの協力

振り返り

コーディネーターが中心となって意見交換会を開催

R7 1月事業スタート → R7 3月末実施 → R7 8月(2回)実施

- ・困っていること
- ・要望
- ・改善策

欠席したサポーター
職員へ周知



わくわくべんきょう コーナー

子どもサポーターと一緒に
楽しく 学習できる
環境づくり



わくわくサイエンスコーナー 知的好奇心がわく環境づくり



全学年の教科書と、知育教材



子ども サポーター 休憩場所

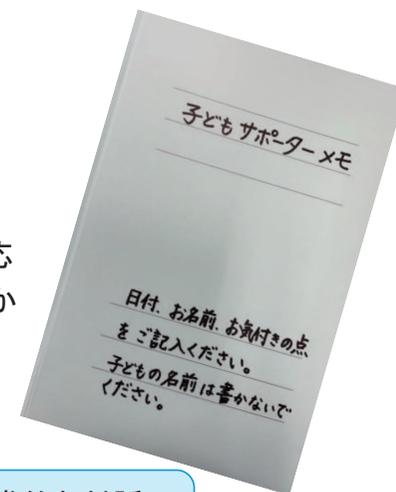


5 今後の課題

子どもサポーターの方々の迷い

- 子どもへの接し方は現状で大丈夫？
学習せず、自由に移動する子どもへの対応
困っている子供に、どこまで教えてよいのか
担任の負担になっていないか
- 子どもにどの程度注意をしてもよい？
信頼関係ができていないのに、大丈夫か

担任と、子どもサポーターとの日常的な対話
子どもへの支援について具体的に伝える



学校が気を付けること

- ・親しき中にも礼儀あり（子ども）
感謝を伝える挨拶、言動ができているか
- ・敷居を低く（職員）
全職員が、子どもサポーターへ挨拶 → 子どもにも広める

子ども・保護者の誤解や不信感を生まない対策

- ・最初の面談を大切に
事業の理念、守っていただきたいことを、繰り返し伝える
- ・日々の対話から実態把握 → 気になることは早期対応

